



ごあいさつ

院長 貝嶋 光信

早いもので6月も後半となりました。一年の半分が過ぎようとしています。月日の経つ速さに驚かされますが、子どもの頃はもっと時間はゆっくり流れていた気がします。NHKの番組のチコちゃんによると、大人になるとあっという間に時間が経つのは「ときめきが無くなったから」だと言っていました。

またそういえば最近の放送で「なんでみんな焼肉が好きなのか？」という問題を出していましたが、その答えは「科学的にも幸せだなーとを感じるから」だそうです。つまり肉（正しくは肉の脂肪）には他の食べ物にはない必須脂肪酸の一つのアラキドン酸が含まれていて、それが体内でアナンダマイドに変化するそうです。このアナンダマイドは別名「至福物質」と呼ばれ、ヒトに幸福感や高揚感をもたらすとのこと。だからみんな焼肉を食べて幸せな気分になるんだって。チコちゃん偉い



地域の健康講座「たよれーるの日」

恵庭市地域包括支援センター主催の地域健康講座が6月11日,18日,25日に開催されました。「高血圧のウソとホント」をテーマに、当院の日高医師による講演が行われました。

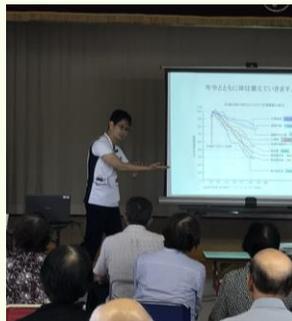
6月11日 福住憩いの家



6月18日 柏陽憩いの家



6月25日 中島会館



病院敷地内禁煙のお知らせ

当院の病院建物内および駐車場、通路を含む敷地内での喫煙は禁止となっております。皆様のご理解とご協力をお願いいたします。



恵み野病院ホームページアドレス：<http://megumino.or.jp>

恵み野病院循環器内科紹介

循環器内科部長 成田浩二

<部門紹介>

循環器内科というと一般的には心臓だけを診ると思われがちですが、実際は、扱う疾患は心臓疾患（弁膜症 狭心症 心筋梗塞など）・手足などの末梢血管疾患・高血圧・不整脈・心臓リハビリと多岐にわたっています。当科は特に不整脈治療・血管内治療・心臓リハビリに力をいれております。当科では、胸を開くことなしに、カテーテルという細い管を手首や足の付け根の血管から入れて心臓の冠動脈、上下肢・腎動脈の“詰まり”の治療をおこなっています。技術や道具の進歩のため以前よりも入院期間が短縮され、通常の治療では3~4日という短期間の入院での治療となっています。

また、不整脈の治療も当科で行っています。脈が極端に遅いために起こる、めまいなどの自覚症状のある方へのペースメーカーの植え込みは以前からおこなっていました。しかし、ペースメーカーの植え込み後に心臓の働きが低下し、心不全となる方が中にはいます。これを防ぐために効果があると考えられている手法でのリードの植え込みを当科では積極的に進めています。また、最近、不整脈の治療でも、薬によらない治療があります。当科でも、本年度からカテーテルをつかった治療を始めました。特に脈がバラバラになり激しい動悸を感じる 心房細動（長嶋茂雄さんの脳梗塞の原因）が高齢化とともに非常に増えております。発作的になる方は、一定の条件がクリアできていれば、現在、カテーテルでの治療が第一選択となっております。今年1月から当院でも新しく始めることとなりました。現在、治療日が1日/月ですが、今後、検査日を増やしていくことを考えています。動悸の自覚のある方はご来院ください。

また現在、高齢化が急速に進んでおり、慢性の心不全患者さんが爆発的に増えていて、国会でも法案が通り、国家レベルでの対応となっています。心筋梗塞・弁膜症などで心臓の働きの弱った方は、入院を繰り返し、徐々に心臓の働きが低下してしまう経過をたどります。この心臓の働きの低下を予防し入院のリスクを減らすには心臓リハビリが有効です。リハビリのスペース・スタッフ不足などから、現在、退院後の患者さまを対象としてリハビリを行い、対応できる人数に限りがありますが、ニーズの高い分野でもあり、将来的に拡充させたいと考えています。当科は24時間体制で循環器内科専門医での対応をしております。胸が苦しい。動悸がする。歩くとふくらはぎが痛い・だるいなどの症状があればお気軽に受診してください。

